

せんだい GREEN アクションアワード表彰事業者「永楽交通」



永楽交通 業務部長の佐々木卓哉さん、総務経理の櫻田文月さん

永楽交通株式会社は、ハイブリッド車の積極的な導入に加え、業界の通例にとらわれず、スタッドレスタイヤの早期交換を実施し夏季の燃費を向上させることに成功した点が高く評価された。表彰に際し、統括運行管理者 業務部長の佐々木卓哉さんは「全従業員の頑張りが認められて大変嬉しく思う」と喜びの表情を見せた。

取り組みの一つである「ジャパントクシー」という LPG ハイブリッド車の導入は社長が提案したアイデア。これまで導入している車両よりも高価だが、燃費の良さを活かし、長距離運転等に活用しており、現在も補助金を利用しながら順次導入を進めているという。



新しく導入した LPG ハイブリッドカーの「ジャパントクシー」

また、タクシー業界の慣例にとらわれず自由な発想で考案されたのがスタッドレスタイヤの計画的な交換だ。佐々木さんも「一番効果があったと思える」と自負している。

タクシー業界では、冬を前にしてスタッドレスタイヤに交換した後はタイヤを履き潰すまでそのまま利用するのが通例。永楽交通でもその通例に則っていたが、スタッドレスタイヤを履き潰すまで使用することは燃費にも悪い上、タイヤの溝がすり減り滑りやすくなって安全運転にも支障が出ることもある。このため、改めてタイヤの運用を見直すことになった。

現在はスタッドレスタイヤの使用は3月までとして、それ以降は夏タイヤに交換している。適切な時期にタイヤを交換することにより燃費も良くなり、安全な運転にも大きく寄与した。スタッドレスタイヤの消耗も少なく済むため、溝が残っているものに関しては次シーズンにもまた使用できる。色々な意味でメリットが大きい施策だ。

ハイブリッド車の導入やタイヤ交換時期の見直しのみならず、アイドリングストップをはじめとした燃費向上に繋がる取り組みも意欲的に行っているとのこと。他のタクシー会社への好影響も期待される。